

参集者からのメッセージ（50音順）

会議を通じてパワーハラスメントを根絶することは難しいと感じさせられた。いかに困難であっても、経営の任に当たる者は、言葉の力、ビジョンの力を行使して働く一人ひとりがパワーハラスメントを抑制する企業文化・組織風土を構築していく努力をすべきである。それは企業活動の活性化にも繋がると確信している。

—ソニー銀行株式会社代表取締役社長 石井 茂

職場において立場や職責にかかわらず、一人ひとりの尊厳や人格を尊重することが、パワーハラスメントのない職場をつくる鍵である。そのためには良好なコミュニケーションの確保と相手を思いやる気持ちが必須であり、結果として生産性の高い職場となるだろう。当たり前のことだが、みんなでやり切ってより良い職場をつくっていこう。

—日本サービス・流通労働組合連合事務局長 石黒 生子

職場のパワーハラスメントは、言葉としては新しいが、古くから存在している問題である。パワーハラスメントをなくすことで、働きやすい職場、働く意欲が出る職場をつくってきたい。

—株式会社リクルートワークス研究所所長 大久保 幸夫

儲けの源泉が情報やサービスに移っている今、企業の価値は人の頭の中や心のありようで決まる。互いに攻撃したり、無視したりすることで無駄になる時間や心理的な損失は計り知れない。それを考えれば、パワハラを防止するための時間や費用など微々たるものだろう。

—株式会社クオレ・シー・キューブ代表取締役 岡田 康子

このところ、精神科医の診察室にも職場のパワハラが原因で心の病に陥った人たちが、大勢やって来ます。ときには上司も交えて話し合いをしますが、よく聞く言葉が「ウチに限ってそんなことがあるわけではない」。ウチの職場はパワハラに関係ない、そう思っている人が、実はパワハラに加害者や被害者かもしれない、ということをお忘れなくください。

—精神科医 香山 リカ

パワハラだけでなくセクハラを含めて職場のハラスメントを予防したり解消するための鍵は、職場の管理職にあります。企業としては、制度的な整備や社員研修の強化に加えて、職場の管理職のマネジメント能力の向上の取り組みが重要です。そのためにはプレーイングマネージャー化している現状を解消し、管理職自身がマネジメントに時間とエネルギーを割けるようにすることが求められます。

—東京大学大学院情報学環教授 佐藤 博樹

日本経済・社会の健全な発展は、企業活動を通じて実現することが必要です。そして、その企業を支える従業員が仕事へのやりがいを実感できることが大切です。円卓会議に参加し、従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を、経営トップをはじめ全ての従業員が意識を合わせて作り上げていくことが大きな課題であることを痛感しました。

—社団法人日本経済団体連合会労働法制本部長 田中 秀明

適正な指導では矯正しないような無気力あるいは自己中心的な部下については、上司だけに指導を任せるのではなく、全社規模で研修をしたり人事措置を考慮するなど、組織管理をあわせて行うことが必要であろう。同様な上司については、なおさらである。

—公益財団法人さわやか福祉財団理事長 堀田 力

労使での細やかな取り組みが重要であり、映像・画像など視覚的に訴えていくことで理解が深まると考えられる。その観点から中小労使への支援も必要である。職場のパワーハラスメントの行為類型を見ただけでは、自らの職場のものとして受け止めにくいが、どの職場においても誰でも加害者にも被害者にもなりうることを全体で自覚しよう。

—日本労働組合総連合会副事務局長 安永 貴夫

いま、「職場のパワーハラスメント」に悩む人が増えています。この問題に対し、あなたは被害者ですか？加害者ですか？それとも傍観者ですか？それらは、みんな当事者です。職場のパワーハラスメントをなくすことは、個人の幸せだけでなく、職場の幸せに繋がります。この提言を共有し、共に取り組みましょう。

—全日本運輸産業労働組合連合会中央執行委員長 山浦 正生

パワーハラスメントについては、対応のためのスキルを身につけることも重要です。特に管理職にとっては、問題の予防や早期解決を図るスキルも管理能力の一環といえます。部下の側でも状況が悪化しないうちに気になる点を指摘するなどの対応をすること、組織としてそれをバックアップすることも有益でしょう。

—慶應義塾大学大学院法務研究科教授 山川 隆一

セクハラについては、世間では既に痴漢行為と同様、あってはならないものという意識が根付いてきたが、パワハラに関してはその意識が今ひとつの感がある。実のところこれも前者同様、否、それ以上に人の尊厳を傷つけている場合が少なくない。この提言を機に、セクハラとパワハラが共により抑制され、誰もしが安心して暮らせる真の成熟した社会ができることを切望する。

—株式会社ブルミッシュ代表取締役社長 吉田 菊次郎